



鶴つるの恩返おんがえし





# 鶴つるの恩返おんがえし



むかしむかし、あるところに

お金かねがない おじいさんとおばあさんが  
住すんでいました。

ふたりは、食たべる物ものも 着きる物ものも  
あまりないけれど、優やさしい人ひとでした。



ある日ひ、おじいさんは  
罾わなにかかっている鶴つるを見みつけました。  
鶴つるは、けがをしていました。



「おお、かわいそうに。」

おじいさんは、罾わなをはずして、  
鶴つるを助たすけました。

するとその夜、一人のかわいい娘が  
家に来ました。娘は道に迷っていました。



心の優しい おじいさんとおばあさんは、  
娘が困っているのので、娘を家に入れました。  
あたたかい食べ物もあげました。

娘はひとりぼっちなので、  
二人と一緒に住みました。



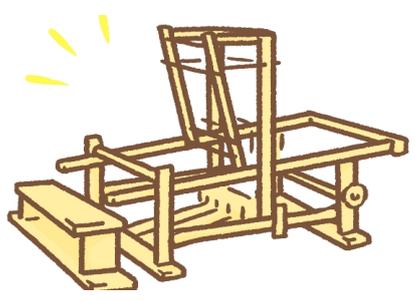
つぎの日から、娘は布を作りました。  
娘が働いている音が聞こえます。

カッターン、カッターン、  
シュー、シュー。

娘は、いっしょうけんめい

働きました。

そして、とても美しい布が  
できました。



とても美しい布だったので、  
この布は町で高く売れました。

そして、お米や味噌が

たくさん買えました。



娘は毎日布を作りました。

おじいさんも町に売りに行きました。

毎日、いろいろな物が買えました。

三人は、一緒に住んで、しあわせでした。

でも、娘とおじいさん、おばあさんには、  
大切な約束がひとつありました。

それは、

『娘が働いているときは、

ぜったいに部屋を見てはいけない。』  
という約束です。

でも、だんだんと娘がやせるので、

おじいさんとおばあさんは、心配しました。



そして、ある夜、こっそり部屋を  
見ました。



すると、そこに娘はいませんでした。



そのかわりに、一羽の鶴がいました。



鶴は、自分の羽で布を作っていました。



娘は二人を見て、言いました。

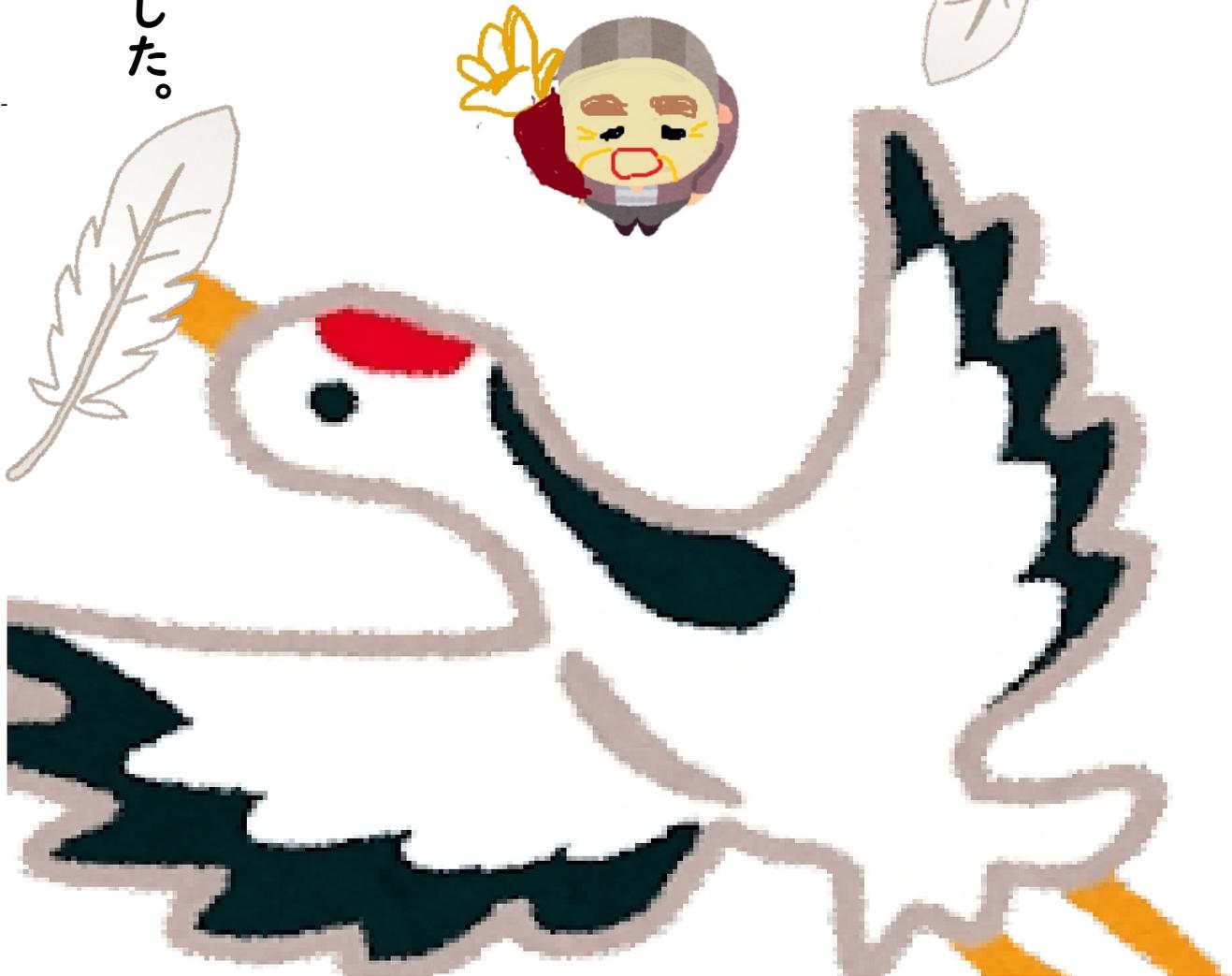
「私はあのときの鶴です。  
恩返しのために来ました。」

でも、おじいさんとおばあさんは  
大切な約束をやぶりましたね。  
お二人が私の鶴の体を見たので、  
もう、一緒に住むことはできません。

さようなら、……。。

お元気で、……。。」

と言って、悲しそうに空へ帰って行きました。



<使用イラスト>

表紙:イラストセンター(改変)

[https://illustcenter.com/2022/01/15/rdesign\\_13870/](https://illustcenter.com/2022/01/15/rdesign_13870/)

機織り機:イラスト AC

<https://www.ac-illust.com/main/detail.php?id=2005978&word=機織り機>

その他:いらすとや(一部改変)

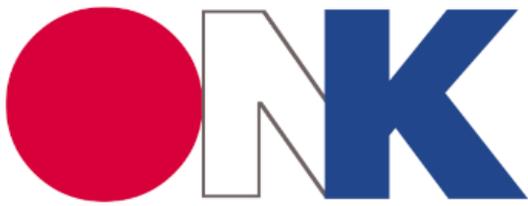
<https://www.irasutoya.com/>

たいとる タイトル	にほんご <sup>たどく</sup> 多読の本 <sup>ほん</sup> レベル3 <sup>れべる</sup> 『鶴 <sup>つる</sup> の恩返 <sup>おんがえ</sup> し』
げんさく ていほん 原作・底本	にほんみんわ 日本民話
ぶん 文	かばしま ゆうこ 樺島 夕子
はっこう 発行	おらんだにほんごきょうしかい オランダ日本語教師会 <a href="https://www.orandanihongokyoshikai.nl/">https://www.orandanihongokyoshikai.nl/</a>
せいさくび 制作日	2022 <sup>ねん</sup> 年3 <sup>がつ</sup> 月31 <sup>にち</sup> 日

©オランダ日本語教師会 2022

無断転載・引用は禁止します。





**オランダ日本語教師会**

Dutch Association of Japanese Language Teachers